

科目名	スポーツプロジェクト6							年度	2026
英語科目名	Sports Practical Skills 6							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 3年次	必/選	必	時間数	150	単位数	10	種別※	講義+演習
担当教員	小松雅樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロスポーツチーム		
【科目の目的】 本科目では、ニュースポーツを含めた様々なレクリエーションスポーツ種目を取り上げ、参加者の健康増進や地域発展に有益となるスポーツイベントの企画・運営を行う。スポーツイベントの活用により様々なスポーツへの参加を促し、参加者間のコミュニケーションや地域交流の活性化を検討しながら、種目に見合ったターゲット市場の分析や効果的な広報活動、イベントの企画・運営に関する知識を身につけることを目的とする。									
【科目の概要】 これまでのスポーツに関する既成概念に捕らわれない体験型プロジェクトを立ち上げ、アクティビティ参加の機会提供とイベント運営を計画する。									
【到達目標】 到達目標 A: 種目特性と顧客特性の両面を把握し、明確な集客目的を設定した上でターゲット層を特定することが出来る。 到達目標 B: イベント規模や内容に応じた適切な予算を想定し、実施費用の管理や、財務計画を行うことが出来る。 到達目標 C: 参加者や観客のアクセスや利便性、安全性を考慮した適切な会場や施設の検討・選定が出来る。 到達目標 D: 効果的な参加者募集のためのソーシャルメディアを活用した情報発信など、適切な広報活動を展開することが出来る。 到達目標 E: 安全な環境確保や緊急時の対応に配慮したイベントを計画することが出来る。									
【授業の注意点】 遅刻や欠席については学校に必ず事前連絡をするようにしてください。無断での遅刻や欠席は成績評価に影響するため注意してください。授業内において教員から指示された検索作業等を行う場合以外は授業中の携帯電話の使用は基本的に禁止します。授業内における私語、その他の不適切な行動について注意されたにも関わらず指示に従わない場合、授業進行の妨害行為とみなして退出を命じることがあります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	明確な集客目的を設定した上でターゲット層を特定し、適切な方針や戦略に沿って集客が出来る。		種目特性と顧客特性の両面を把握し、明確な集客目的を設定出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 B	イベント規模や内容に応じた適切な予算を想定し、円滑な運営のための資金調達計画と収支管理を行うことが出来る。		イベント規模や内容に応じた適切な予算を想定することが出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 C	参加者や観客のアクセスや利便性、安全性を考慮した適切な会場や施設の確保手続きや使用交渉が出来る。		参加者や観客のアクセスや利便性、安全性を考慮した適切な会場や施設の検討・選定が出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 D	ターゲット市場に向けた宣伝や広告、ソーシャルメディアを活用した情報発信など、適切な広報活動を展開することが出来る。		効果的な参加者募集のためのターゲット市場に向けた宣伝や広告、ソーシャルメディアを活用した情報発信など、検討することが出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 E	万が一のトラブルや災害を予測して、安全な環境確保や緊急時の対応に配慮したイベントを実行することが出来る。		安全な環境確保や緊急時の対応に配慮したイベントを計画することが出来る。		到達目標の達成度として不十分				
【教科書】 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		スポーツプロジェクト6			年度	2026
英語表記		Sports Practical Skills 6			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イントロダクション	授業目的の説明と担当グループ分け	1 イベントの目的	イベント設計におけるポイントの整理と理解	2	
			2 イベント内容の設定	具体的なイベント内容の検討		
			3 作業工程の設定	計画的なイベント企画・運営スケジュールの設定		
2	イベント内容に沿った地域情報収集とスポーツ種目の検討	イベント企画準備	1 イベントの目的	イベント設計におけるポイントの整理と理解	2	
			2 イベント内容の設定	具体的なイベント内容の検討		
			3 作業工程の設定	計画的なイベント企画・運営スケジュールの設定		
3	イベント内容に沿った地域情報収集とスポーツ種目の検討	イベント企画準備	1 イベントの目的	イベント設計におけるポイントの整理と理解	2	
			2 イベント内容の設定	具体的なイベント内容の検討		
			3 作業工程の設定	計画的なイベント企画・運営スケジュールの設定		
4	スポーツイベントの企画	イベント企画	1 イベント内容の具体化	イベント企画・運営に向けた情報収集・調査	2	
			2 イベント内容の検討	情報整理と調査結果に基づくイベント内容の検討		
			3 イベント実施方法の検討	情報整理と調査結果に基づくイベント実施方法の検討		
5	スポーツイベントの企画	イベント企画	1 イベント内容の具体化	イベント企画・運営に向けた情報収集・調査	2	
			2 イベント内容の検討	情報整理と調査結果に基づくイベント内容の検討		
			3 イベント実施方法の検討	情報整理と調査結果に基づくイベント実施方法の検討		
6	スポーツイベントの企画	イベント企画	1 イベント内容の具体化	イベント企画・運営に向けた情報収集・調査	2	
			2 イベント内容の検討	情報整理と調査結果に基づくイベント内容の検討		
			3 イベント実施方法の検討	情報整理と調査結果に基づくイベント実施方法の検討		
7	スポーツイベント企画内容の最終調整	イベント企画・運営準備	1 イベント内容の具体化	スポーツイベント企画・運営に向けた情報収集・整理に基づく最終案の決定	2	
			2 イベント内容の検討			
			3 イベント実施方法の検討			
8	スポーツイベント運営に向けた最終調整	イベント運営の準備	1 イベントに関する広報作業	参加者募集の告知内容の決定と情報発信	2	
			2 イベントに関する器材調達	イベント実施に必要な器材調達		
			3 イベントに関する施設確保	イベント実施に関わる施設使用確認と確保		
9	スポーツイベントの運営に関わる準備	イベント運営の準備	1 イベントに関する広報作業	参加者募集の告知内容の決定と情報発信	2	
			2 イベントに関する器材調達	イベント実施に必要な器材調達		
			3 イベントに関する施設確保	イベント実施に関わる施設使用確認と確保		
10	スポーツツーリズムイベントの運営に関わる準備	イベント運営の準備	1 イベントに関する広報作業	参加者募集の告知内容の決定と情報発信	2	
			2 イベントに関する器材調達	イベント実施に必要な器材調達		
			3 イベントに関する施設確保	イベント実施に関わる施設使用確認と確保		
11	スポーツイベントの運営に関わる準備	イベント運営の準備	1 イベントに関する広報作業	参加者募集の告知内容の決定と情報発信	2	
			2 イベントに関する器材調達	イベント実施に必要な器材調達		
			3 イベントに関する施設確保	イベント実施に関わる施設使用確認と確保		
12	スポーツイベントの運営・実施	イベントの運営	1 参加者対応	参加者とのコミュニケーションおよび安全に配慮した誘導	2	
			2 イベント進行管理	企画内容に沿った適切なイベントの運営		
			3 その他の対応	来場者からのフィードバックに基づくイベント実施中の適時改善など		
13	スポーツイベントの運営・実施	イベントの運営	1 参加者対応	参加者とのコミュニケーションおよび安全に配慮した誘導	2	
			2 イベント進行管理	企画内容に沿った適切なイベントの運営		
			3 その他の対応	来場者からのフィードバックに基づくイベント実施中の適時改善など		
14	イベント実施後の改善点の確認	イベントの評価と改善	1 参加者対応	イベント成果に対する自己評価と来場者からのフィードバックに基づく改善点の明確化	2	
			2 イベント進行管理	イベント成果に対する自己評価と来場者からのフィードバックに基づく改善点の明確化		
			3 企画・運営の限界点と改善点の理解	イベント成果に対する自己評価と来場者からのフィードバックに基づく改善点の明確化		
15	将来的なイベントに向けた改善点の検討	イベントの評価と改善	1 将来的なイベントの目的	イベント設計におけるポイントの整理	2	
			2 将来的なイベントの目標設定	具体的なイベント内容の検討		
			3 将来的なイベントの評価点	今後求められるイベント成果と社会的意義の検討		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等